



6月からようやく授業が始まり、少しずつ日常生活が戻りつつあるように感じます。とは言っても、まだ学校生活は、分散登校で、半日だけの授業、部活動も制限された状態です。教師もマスクとフェイスシールドを付けて授業をする。生徒の皆さんもマスクを着け、人との距離を取るようにならなければならない不便を強いられています。このような状態では、なかなかクラスの友達や先生との関係を深めることが難しいのではないかと心配します。しかし、こういう状況だからこそ、今まで普通だと思っていた、皆で集まって、ワイワイ自由に話し、笑い、共感することが人間にとっていかに大切かということを意識せずにはられません。

さて皆さん、「コロナ後の世界」は、どのようになって行くと思いますか？ パンデミックが過ぎれば、元の世界に戻るでしょうか。生活の不便さはそのうち徐々に改善していくでしょうが、社会は確実に変化して行くと思います。実際、その変化はすでに始まっています。アメリカでは黒人差別をきっかけに、コロナ下でより明確になった社会の不平等に抗議する大規模なデモが巻き起こっています。日本でも、政治への関心が高まり、政府のおかしな政策に対する国民の批判で、政府が政策を変更せざるを得なくなるという事態が起きています。

我々は、社会の中で生きています。「自分の進路」を考える時も、この社会の中で自分がどのように生きていくべきかという観点を忘れないようにしてください。進路指導部 J.F

3年生へ～いよいよ受験シーズンです～

前回の進路通信でも伝えましたが、今年はオンライン説明会の機会が増え、オープンキャンパスに参加して大学や専門学校を訪問する機会が減っています。AO入試のエントリーもWebで簡単にできるからこそ注意が必要です。

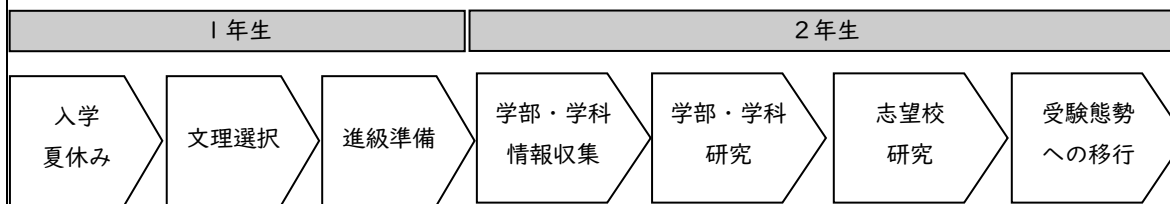
■総合型選抜（AO入試）の専願の出願に注意

総合型選抜はほとんどの場合は専願です。専願とは「合格すれば必ず入学しなければならない」ということ。進学する学校の変更がききません。エントリーや出願前にもう一度、通学すること、学費のことなどよく考えてみてください。

1年生・2年生のみなさんスタートはきれましたか？

■1年生は秋に文理選択、2年生も科目選択があります

1年生みなさん。「どこの高校に進学するか？」は中学3年生になってから多くの人は考えたと思います。だから、高校も卒業後の進路は高校3年生になってから考えるものと思いませんか？違います。1年生の秋に今後、文系として勉強をするか、理系として勉強するかを決めなければなりません。文系・理系が進路に大きく関わるのは言うまでもありませんから、1年生の夏休みくらいには自分の進路について考え、秋にある程度の方向性は決めなくてはなりません。同様に、2年生は3年時の科目選びを秋にします。大学受験を意識した科目選びをするのか、実技科目を選ぶのかなどより具体的な選択ですから、夏休みに考えておいて下さいね。



図：進路選択の流れについて 出典：ベネッセ資料より

進路指導室の利用のすすめ ※全学年対象

■ノートパソコン3台

大学や専門学校、企業の情報収集や出願指導などに使われるインターネットに接続されたPCです。許可を得れば生徒のみなさんも使用できます。



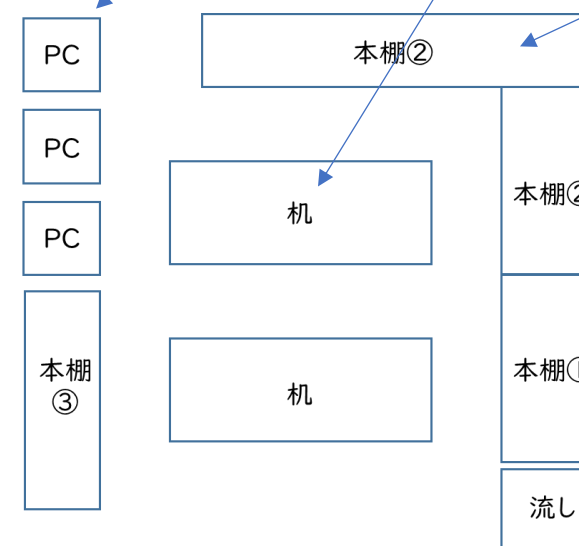
■机2台

書籍や資料を閲覧したり、先生との進路相談や面接練習、自習などに使える机です。



■本棚（進路資料）

大学個別の過去問、進研模試の過去問、進学関連書籍、資格試験書籍、昨年度の求人票一覧や企業の資料などの本棚です。



←この先は生徒立ち入り禁止



■本棚（赤本）

過去問の定番赤本を3年間分おいています。共通テスト対策にセンター試験の赤本もおいています。貸出簿に記入することで、赤本を借りることもできます。

■資料棚

各、大学や短大、専門学校ごとの資料が青いケースに入って整理されています。志望校選びや出願準備のときなどに使用します。



進路指導室はA棟中2階の図書室の前にあります。3年生が利用することが多いですが、2年生1年生のみなさんも自分のための情報収集に積極的に活用してください。